

手賀沼におけるオオヨシキリのさえずり個体数の経年変化 （1987～1992）

大山紀子*¹・百瀬邦和*²・平岡孝*²・斉藤安行*¹・鶴見みや古*²

はじめに

手賀沼は千葉県の北西部に位置する利根川水系の沼で、様々な鳥類が生息し、そのいくつかが繁殖している。この沼の流域に広がるヨシ原には、毎年多数のオオヨシキリ *Acrocephalus orientalis* が渡来し繁殖している。1987年から1991年までの5年間、手賀沼で繁殖するオオヨシキリについて、そのさえずり個体数を調査したが、これに続けて1992年も同様の調査を行ったので合わせて報告する。

調査地および調査方法

調査は千葉県の手賀沼全域で行った（図1参照）。調査地の主な植生は、マコモ、ヒメガマ、ヨシ、ネズミムギ等の水性植物群落が中心で、その内陸には水田が広がっている。手賀沼の北岸は岸に沿って遊歩道が整備されており、南岸には堤防が形成されている。

この手賀沼全域を上沼北岸、上沼南岸、下沼北岸、下沼南岸の四つの地域に分け、4グループで同時に観察を行った。調査時間は午前中とした。なわばり形成期のさえずりは、午前中に比較的活発であることが報告されている（羽田他，1968）。

調査は、徒歩または自転車で遊歩道および堤防を移動し、オオヨシキリの個体数を観察し、さえずりが確認できた地点、および姿が確認できた地点を地図に記入した。必要に応じて8倍から10倍の双眼鏡を用いた。

調査期間は1987年から1992年までの6年間で、毎年1回、さえずり個体数が最も多いと予想される、5月下旬から6月上旬までの晴天の日に行った。

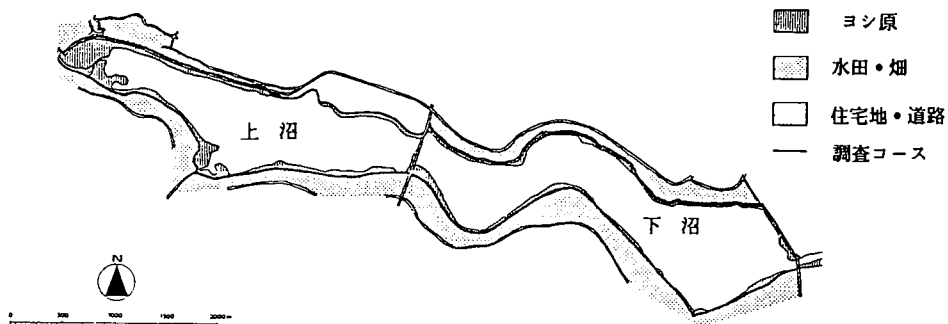


図1 調査地概要（手賀沼）

*1 〒270-11 千葉県我孫子市高野山234-3 我孫子市鳥の博物館

*2 〒270-11 千葉県我孫子市高野山115 (財)山階鳥類研究所

結 果

図2から図6はそれぞれ、手賀沼全域、上沼北岸、上沼南岸、下沼北岸、下沼南岸における堤防内のオオヨシキリのさえぎり個体数の経年変化（1987年から1992年）を示したものである。

さえぎり個体数の経年変化について見ると、手賀沼全域ではさえぎり個体数は年々減少する傾向にあり、1992年には1987年の75%にまで減少した。

下沼北岸でも年々減少の傾向がみられ、1991年には1987年の39%にまで減少した。しかし、1992年には1991年の144%にまで回復した。

下沼南岸では、多少の変動はあるものの全体として減少の傾向が見られ、1992年には1987年の59%となった。

上沼北岸では、さえぎり個体数は1987年から1990年までほぼ一定であったが、1991年になって増加し、前年の164%となり、1992年もほぼ同じ値を示した。

上沼南岸では、1988年から1990年にかけてさえぎり個体数は増加した（1990年は1987年の113%）が、1991年には急激に減少、1992年にも減少し、1990年の71%となった。

また、1992年の手賀沼全域でのさえぎり個体数は161羽であった。4地域の1992年のさえぎり個体数はそれぞれ、上沼北岸で27羽、上沼南岸で74羽、下沼北岸で13羽、下沼南岸で47羽であった。

考 察

オオヨシキリのさえぎり個体数の変動の要因としては、調査時期のちがいや気候の変動などの影響も考えられるが、最も大きな要因としては、その生息場所であるヨシ原の減少が考えられる（大山他、1992）。

1992年の調査は、大山（1992）の手賀沼下沼でのさえぎり個体数の季節変化の結果、最もさえぎり個体数の多かった6月上旬に実施した。手賀沼下沼北岸では、確かにさえぎり個体数は増加したが、他の3地域ではさえぎり個体数は減少し、一見さえぎり場所として好適に見える環境でも、よくさえぎっている個体はあまり見られなかった。

今後、この調査を続けて行く上で参考にしたい。

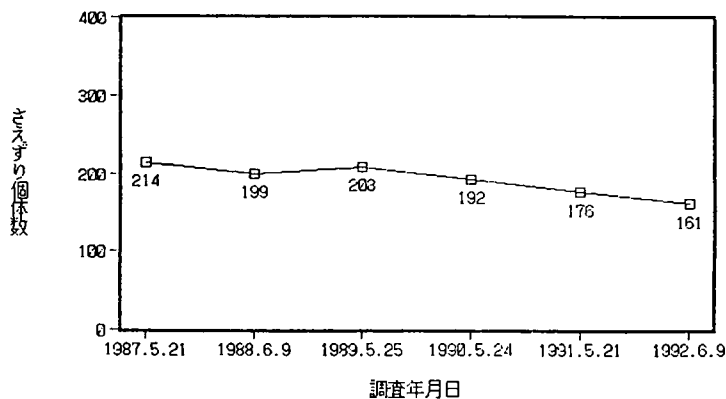


図2 手賀沼におけるオオヨシキリのさえぎり個体数の経年変化（堤防内）

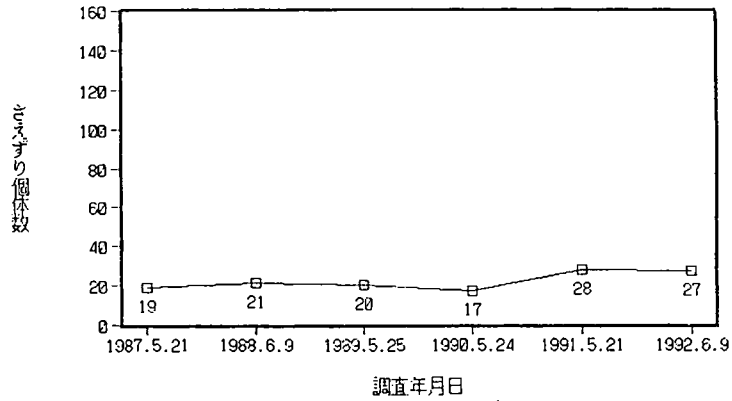


図3 手賀沼上沼北岸におけるオオヨシキリのさえぎり個体数の経年変化（堤防内）

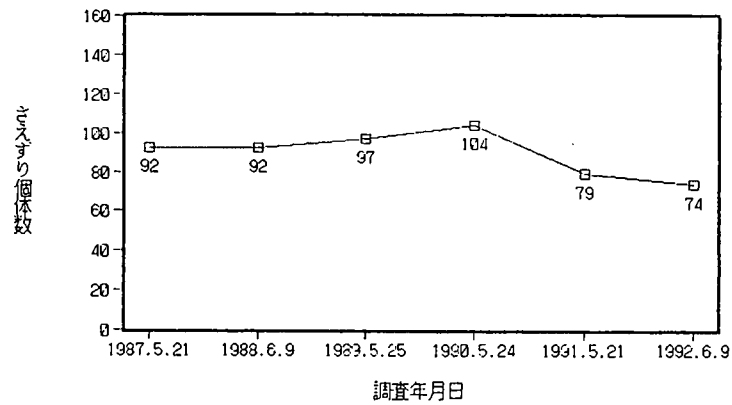


図4 手賀沼上沼南岸におけるオオヨシキリのさえぎり個体数の経年変化（堤防内）

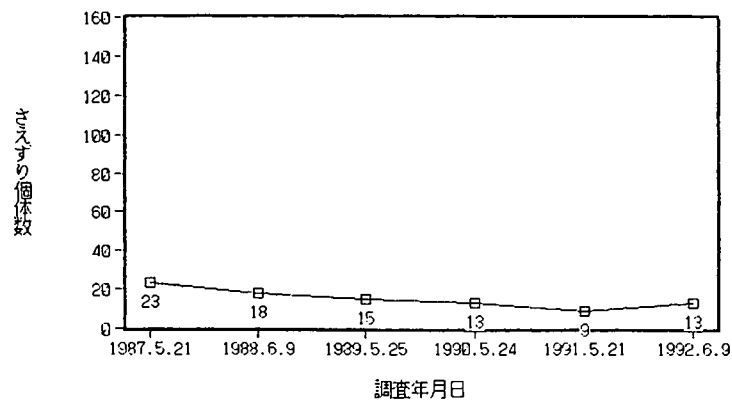


図5 手賀沼下沼北岸におけるオオヨシキリのさえぎり個体数の経年変化（堤防内）

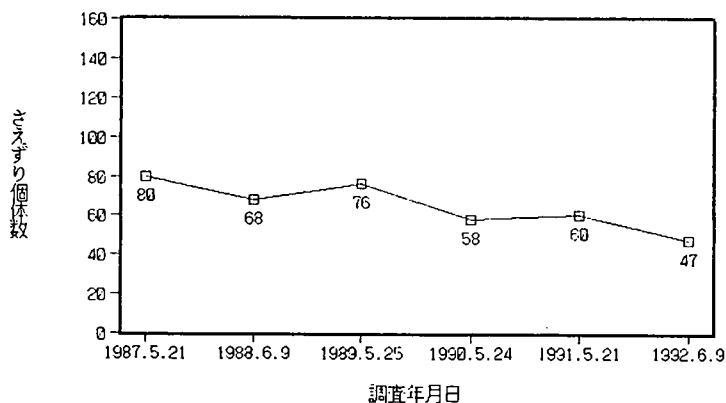


図6 手賀沼下沼南岸におけるオオヨシキリのさえずり個体数の経年変化（堤防内）

引用文献

- 羽田健三, 寺島けさい. 1968. オオヨシキリの生活史に関する研究. I 繁殖生活. 日本生態学会誌 18 (3) : 100-109 .
- 大山紀子. 1992. オオヨシキリのさえずり個体数の季節変化. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 1 : 5-7.
- 大山紀子・百瀬邦和・平岡孝・斉藤安行・鶴見みや古. 1992. 手賀沼におけるオオヨシキリのさえずり個体数の5年間の経年変化. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 1 : 37-41.

Annual change of the number of singing males of the Oriental Great Warblers (*Acrocephalus orientalis*) at Lake Teganuma during 6 years.

Abiko City Museum of Birds, Kohnoyama 234-3, Abiko, Chiba, 270-11, Japan
Yamashina Institute for Ornithology, 115 Konoyama Abiko, Japan, 270-11

表1 調査年月日, 調査時間および調査時の天候

調査年	調査月日	調査時間	天候
1987	5月21日	8:00~12:06	晴れ
1988	6月9日	8:20~12:30	くもり
1989	5月25日	8:20~10:55	くもり
1990	5月24日	8:15~10:50	くもり
1991	5月21日	8:09~12:55	くもり
1992	6月9日	8:15~10:25	くもり時々小雨